

# 根岸 コミ協だより

根岸地域コミュニティ協議会広報紙  
第19号(平成31年3月15日発行)  
発行: 根岸地域コミュニティ協議会

問い合わせ先 根岸地域コミュニティ協議会  
〒950-1247 新潟市南区山崎興野290  
電話/025-362-6135 FAX/025-362-6425  
メールアドレス/changing.negisi@bz03.plala.or.jp

川と共に育ち、大地と共に育つ、ここが私たちの地域。  
根岸地域に住む皆さんが、地域の人とのふれあいを大切  
にし、共に支え合う心を持つことができる地域づくりを  
目指します。

根岸地域コミュニティ協議会

ねぎし

協議会の運営・活動は、新潟市の補助金を受けて実施しています。

## ねぎしものがたり

### くろとりひょうま 「黒鳥兵衛の伝説」から 「越後七不思議」伝説

全国各地の伝説で代表的なものは、弘法大師（空海）にまつわるものが多い。しかし、越後においては親鸞聖人（浄土真宗開祖）に結びつくものが多い。しかもその代表的な伝説「越後七不思議」では、七不思議のうち六つが蒲原地方にあり、今もなお多くの人々に語り継がれて来た。

親鸞は1173年（承安3年）に生まれ、29歳で法然聖人の門に入り専修念仏に帰す。35歳（1207年）のとき専修念仏停止（国史に残る宗教弾圧）により、越後国府（上越）に流罪となる（法然は土佐）。1211年流罪を許されるまで5年間越後国府に留まる。

しかし流罪が許されてもなお、1214年に関東へ移住するまで越後に留まり各地を廻ったのだろうか？  
(流罪された人で、赦免後も流罪の地に足を止めた人はいない。)

多くの高僧の中で親鸞ほど自己を語らなかつた人はいない。中でも越後の事柄は推測によるものが多い。

しかし大正10年、京都西本願寺の宝蔵庫から妻の恵信尼の書簡10通が発見され、親鸞の越後の伝記が次第に明らかになりつつある。90歳の生涯において、越後での7年間に彼の思想の根幹が出来たのではないだろうか。

都で海を見たことがなかつた親鸞にとって、日本海の自然（冬の海、雪、そして春）は仏典の大海の不思議さを考えさせ、また流罪の身の彼を迎え入れた国府の人々や各地の農民、漁民などの民衆に接する機会（流罪を許された後、2年ほど越後に留まる）を持ち、彼のひたむきな念仏の生活態度に自然と教化された人々との交流、そして何よりも生涯の伴侶となる恵信尼との結婚、1211年（建暦元年）には子供信蓮房の誕生がある。

1215年（建保3年）には門弟の性信房が『教行信証』を見たという記録があり、このことから越後時代に原型の主著『教行信証』が出来上がっていたのではないかと推測されている。

根岸を含む蒲原地方に浄土真宗が多いことは、後に織田信長に追われた宗徒がこの地に移り住むようになったことにもよるのだろうが、この頃の交流が親鸞にとってもこの地の人々にとっても大きいのではないのでしょうか。

親鸞にまつわる伝説は多くあるが、いわゆる「越後七不思議」を下記に示します。また、この地方に伝わる「八珍柿」は実に種がないことから八番目の不思議として名がついたとも言われています。

(正式名一平核無柿のこと)

## 「越後の七不思議」伝説

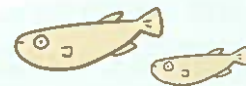
1.	居多ヶ浜 五智の「芹葉の葎」	(親鸞流罪の地)	上越市
2.	田上 了玄寺の「繋ぎ櫃」	後に西養寺(江南区酒屋)へ移ったといわれる	南蒲原郡
3.	保田 孝順寺の「三度栗」		阿賀野市
4.	小島 梅護寺の「八房の梅」		阿賀野市
5.	小島 梅護寺の「珠教掛桜」		阿賀野市
6.	鳥屋野 西方寺の「逆竹」	後に北山浄光寺(西堀通)へ移ったといわれる	新潟市中央区
7.	山田 山王神社 田代家の「焼鮎」	後に誓慶寺の「焼鮎円盤」(新潟市江南区平賀)へ移ったといわれる	新潟市西区

尚、5. 「珠教掛桜」の代わりに平島 鈴木家の「波切りの御名号」とする説もある。

注) : 「じゆず」は本来「教珠」であるが、「珠教掛桜」においては「珠教」と表記される。

◇ 7. 田代家の「焼鮎」はすぐ近くですので紹介します。

### 「焼鮎伝説」



鳥屋野で布教していた親鸞の流罪が赦免になったので、山田(黒埼)の民衆が別れを惜しんで宴を催し、親鸞に焼いた鮎を出した。親鸞は袈裟を榎に掛け、念仏を称えて、山田山王神社の境内にあった池に鮎を放した。

鮎は生き返って泳ぎ出したという。

1976年(寛政8年)、親鸞が袈裟を掛けたという、大きい榎の枝が台風で折れた。折れ口に親鸞の姿と焼鮎の形が現れたという。現在、田代家に家宝として大切に保管されている。

※「越後の親鸞」大場厚順著 「新潟日報事業社」発行による

#### 目 参考文献

- |               |         |          |
|---------------|---------|----------|
| ・越後と親鸞        | ・恵信尼の足跡 | 平野団三 著   |
| ・越後の親鸞        |         | 大場厚順 著   |
| ・黒埼物語         |         | 黒埼町教育委員会 |
| ・にいがた歴史散歩 西蒲原 |         | 新潟日報事業社  |
| ・親鸞の妻・恵信尼 仁科龍 |         |          |